

令和2年度下期 関東森林管理局事業評価技術検討会（書面審議）

審議概要議事

評価案件名	意見・質問	回答
森林整備全般	コスト縮減に取り組まれていることは評価できます。下列回数 の縮減などは、森林総合研究所の成果を利用されているもの と 思 い ま す。こ う い っ た 研 究 成 果 の 実 証、普 及 を 益 々 行 っ て い か れ る こ と に 期 待 し ま す。	コスト縮減は重要な取組事項の一つと考えています。これから も 研 究 機 関 等 の 共 同 試 験 や そ の 成 果 を 基 に し た 現 地 検 討 会 等 を 開 催 す る な ど、県、市町村、林業関係者等との情報の共有に 努 め て ま い り ま す。
全共通	毎回同じことを言っていますが、洪水防止便益、流域貯水便益、 水質浄化便益、土砂流出防止便益、炭素固定便益などの変数tの 説明に書かれている「※社会的割引率を考慮するために用いる (1+i)tのt(年数)とは異なる」の注ですが、異なるものには異なる変 数名を与えるか、212ページ以降の解説にはtの説明が無いので 注が不要であれば注を削除するなどの対応をお願いします。	令和元年度下期及び令和2年度上期の事業評価技術検討会にお い て、ご意見をいただき、林野庁に事業評価マニュアル、同算 定プログラム改善の改正を要望しております。 今回もご意見をいただいた旨、再度、林野庁に事業評価マニ ュ ア ル、同算定プログラムの改善を要望いたします。 なお、林野庁に確認したところ、これまでのご意見を踏まえマ ニ ュ ア ル 等 の 一 部 改 正 を 来 年 度 検 討 し て い る の と の こ と で す。
奥久慈	「伐採時の生産性向上」とは具体的に何を指すのでしょうか？	伐採時の生産性とは、ある作業地の全体の生産量を投入人工数 で割って、作業員1人が1日に平均で何㎡の丸太を生産したか を算出したものを言い、生産性向上とは、この生産性を例え ば、1人1日当たり5㎡生産していたところを高性能機械等の 導入や作業の効率化により1人1日当たり10㎡生産するといっ た取組のことです。
那珂川	「伐採時の生産性向上」とは具体的に何を指すのでしょうか？	
利根川上流	「伐採時の生産性向上」とは具体的に何を指すのでしょうか？	
富士	「伐採時の生産性向上」とは具体的に何を指すのでしょうか？	
奥久慈	事前評価個表(案)を確認し、適切な内容と判断しました。た だ、スギの花粉症対策苗木の供給が十分な状況かどうか気が なりました。また、民有林との連携は是非進めていって戴き たいと思います。	苗木の供給については、苗木の需給調整会議等により調整をし ており、スギ花粉症対策苗木の供給も福島県、新潟県を除く都 県で100%を達成しています。民有林との連携については、 研究機関等との共同試験やその成果を基にした現地検討会の実 施、共同施業団地の設置等、民国連携での施業の実施を今後と も推進してまいります。
那珂川	事前評価個表(案)を確認し、適切な内容と判断しました。民 有林との連携もしっかり進めていって戴きたいと思います。	
利根川上流	事前評価個表(案)を確認し、適切な内容と判断しました。 B/Cが高い値になっていることが目を引きますが、資料2とも関 連付けて正確を期した分析がなされているものと期待します。 ただ、木材利用増進便益が相対的に見てやや低いのかなと感じ ました。	木材利用増進便益は施業実施計画の路網整備の計画を基に計算 しており、利根川上流森林計画区は他の森林計画区と比べて、評 価対象となる林道の箇所数や計画量が少ないことから便益が低 いと思われます(奥久慈90路線、那珂川57路線、利根川上流40路 線、富士54路線)。
富士	事前評価個表(案)を確認し、適切な内容と判断しました。 B/Cが高い値になっていることが目を引きますが、資料2とも関 連付けて正確を期した分析がなされているものと期待します。 ただ、炭素固定便益が相対的に見てやや低いことが気になり ました。	炭素固定便益は施業実施計画の更新・保育の計画を基に計算し ており、富士森林計画区は他の森林計画区と比べて、更新・保 育面積の計画量が少ないため便益が低いと思われます(奥久慈 8,686ha、那珂川6,896ha、利根川上流8,107ha、富士2,629ha)。
中越	新設されたことが一因と推察しますが、山地災害防止便益(人 命保護便益)に関するRがどうして誤った値になったのかの説明 をお聞きしたいと思いました。B/Cの高さから、分析や計算の 仕方を再確認することが必要だったと感じました。	令和2年8月に示しました資料につきまして、林野庁にて作成 配布された費用対効果を算出する際に使用しているプログラム の中で、年間山腹崩壊発生率(災害の発生率)であるRが初期 値として「1.0」の数値が入力されていました。 その後、林野庁より見直しの指示がありRが「0.032」である との事由により今回再計算の結果、今回お示した便益、費用対 効果となったところです。今後は事業評価マニュアルに沿い、 錯誤のない計算結果となっていないかを確認していく考えで す。 また、林野庁から今後配布されるプログラムについては、「人 命保護便益」の算定シートに注意書きを付すなどの再発防止を 行うことで検討されております。

評価案件名	意見・質問	回答
小山	上記の指摘を踏まえ、特段の意見や質問はございません。	資料2-1(中越)の回答と同様に、今後は事業評価マニュアルに沿い、錯誤のない計算結果となっていないかを確認していく考えです。
奥久慈	伐採する場合は、すべて主伐になるのでしょうか？ 間伐で搬出はしないのでしょうか？ 伐採後に再造林する場合、獣害などの心配はないのでしょうか？	<p>間伐を実施する際には、木材を搬出する場合と残置する場合があります。搬出条件の良い林分は搬出して木材を販売しています。</p> <p>獣害については、シカ、クマ、野ウサギ、ネズミ等の被害が発生する場合があります。特にシカについては、年々広がりを見せており、苗木を防護するための柵を設置するなどの対応をしています。</p> <p>令和3年の計画では、関東管理局内のシカ防護対策を実施しない署等は新潟県内の上越署、中越署、下越署、村上支署となっています。</p> <p>保安林については、保安林の種類により指定施業要件を定めていますが、多くを占める水源かん養保安林は皆伐の限度面積を5ha～20ha程度として指定されています。</p>
那珂川	全体の91%が保安林なので、主伐の最大面積はどのくらいまで許可されるのでしょうか？再造林の時の獣害などの心配はないのでしょうか？	
利根上流	全体の83%が保安林なので、主伐の最大面積はどのくらいまで許可されるのでしょうか？再造林の時の獣害などの心配はないのでしょうか？	
富士	全体の98%が保安林なので、主伐の最大面積はどのくらいまで許可されるのでしょうか？再造林の時の獣害などの心配はないのでしょうか？	

各評価対象案件に対する意見

○事前評価

[森林環境保全事業（奥久慈森林計画区）]

事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。
事業の効率性や生産性の向上につながる取組を民有林に普及させていくことが望まれる。

[森林環境保全事業（那珂川森林計画区）]

事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。
事業の効率性や生産性の向上につながる取組を民有林に普及させていくことが望まれる。

[森林環境保全事業（利根上流森林計画区）]

事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。
事業の効率性や生産性の向上につながる取組を民有林に普及させていくことが望まれる。

[森林環境保全事業（富士森林計画区）]

事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と考える。
事業の効率性や生産性の向上につながる取組を民有林に普及させていくことが望まれる。

○期中の評価見直し

[治山事業（小山地区）]

上期審議のとおり相違ない

○完了後の評価見直し

[治山事業（中越地区）]

上期審議のとおり相違ない